

定例公安委員会の開催概要

定例公安委員会は、令和3年1月20日（水）に開催されました。

1 決裁事項

- ・ 秋田県議会第2回定例会12月議会における審議状況について
- ・ 秋田県公安委員会の公印に関する規則の一部改正について
- ・ 風俗環境保全協議会の委員委嘱について
- ・ 指定自動車教習所の行政処分実施について

2 審議事項

- ・ 案件なし

3 報告事項

(1) 令和2年12月中、令和2年中の苦情の取扱いについて

県警察から、令和2年12月中、令和2年中の苦情の取扱いに関する報告があった。
令和2年12月中の苦情受理件数は、2件（警察あて2件）であり、内訳は「パトカーの走行に関するもの」「警察官の発言に関するもの」であるとのことであった。

委員から、『丁寧な説明、判りやすい説明を心がけていただきたい。』『正確な業務知識を持って、言動に注意し職務に当たるよう指導していただきたい。』との発言があった。

(2) ワークライフバランスアンケートの実施結果について

県警察から、ワークライフバランスアンケートの実施結果に関する報告があった。
職員のワークライフバランスの進捗状況を把握するため、令和2年11月、全職員を対象にアンケートによる意識調査を実施した。

休暇取得状況では、休暇を「取得できる」「どちらかというと取得できる」と回答した割合が94%で前回調査と比較して4%増加、超過勤務の状況については、超過勤務が「多い」「どちらかという和多い」と回答した割合は31%で、前回調査と比較して15%減少するなど、前回調査と比較して職員のワークライフバランスが推進されている状況が確認された。

引き続き、業務の合理化、平準化等の働き方改革を推進し、働きやすい職場環境の整備に努めるとのことであった。

委員から、『女性の持っている能力を十分に発揮出来るような施策を進めてもらいたい。』『結果を分析し、更に良い施策を進めてもらいたい。』との発言があった。

(3) 令和2年中の児童虐待の取扱状況について（暫定値）

県警察から、令和2年中の児童虐待の取扱状況に関する報告があった。

児童虐待事案として認知して対応した件数は330件と、前年より11件（3.4%）増加した。

また、虐待を受けた疑いがあるとして児童相談所に通告した児童数は394人と、前年より37人（10.4%）増加した。

今後も、関係機関との緊密な連携を保ちながら、児童の生命・身体の保護のための措置を積極的に講じていくとのことであった。

委員から、『関係機関との連携を密にし、それぞれの課題や対応の仕方を検討するなど、児童の安全を最優先に対応していただきたい。』との発言があった。

(4) 令和2年中のサイバー犯罪を巡る県警察の活動状況について

県警察から、令和2年中のサイバー犯罪を巡る県警察の活動状況に関する報告があった。

検挙件数は45件で昨年に比べて25件減少した。

検挙活動に加えて犯罪に使用されたサイト契約者等にセキュリティ指導を行い、被害拡大防止対策を実施している。

大学生サイバーボランティアが、サイバーパトロール活動や小中学生に向けてインターネット利用上の注意を喚起する動画を作成中であるとのことであった。

委員から、『様々な機会を通じ、県警の対応状況について広く広報していただきたい。』との発言があった。

(5) 由利本荘市鳥海町地内における殺人事件被疑者の逮捕について

県警察から、由利本荘市鳥海町地内における殺人事件被疑者の逮捕に関する報告があった。

由利本荘警察署は、令和3年1月16日、由利本荘市内で長女（40歳）が実母（67歳）の胸部等を刃物で刺して死亡させたとして、殺人事件の被疑者として緊急逮捕したとのことであった。

委員から、『捜査をしっかり願う。』との発言があった。